

第1回ドローン産業研修

災害発生時におけるドローンの活用
～ HecEye を活用した多地点映像中継システム ～

地震や豪雨など、「大規模災害でのドローン活用」として、さまざまな取り組みが進んでいます。現地では被災状況の把握や被災者の捜索が急務であり、ドローンの特長である「機材が安価・操縦が容易・高精細映像を撮影・低空飛行」は、有力な手段として期待されています。

今回の研修では、協議会連携パートナーである「一般社団法人救急医療・災害対応無人機等自動支援システム活用推進協議会(EDAC)」のご協力により、株式会社リアルグローブが展開する「HecEye」の現地デモ、および座学を開催します。

座学では、災害発生時のドローン活用について、現状の技術と今後の展開について解説します。その後、災害発生現場の想定地である屋外の現場へ移動していただきます。ドローンが実際に飛行し、複数の映像を多人数・リアルタイム中継、救助活動の指揮系としての効果を検証します。

災害・防災の関係者、その他、防災や災害、レスキューに関連する事業にご関心ある方々のご受講をお待ちします。

● 日時：8月24日(金)10:00～12:30(雨天時は8月27日へ順延予定)

● 場所：大分県南部振興局 大会議室(佐伯市長島町1-2-1)

● 概要：

大地震による大津波が発生、佐伯市沿岸部が津波被災、土砂災害現場上空をドローンが飛行、HecEye多地点中継による捜索・指揮活動を実証実験の形式でデモおよび解説。

● 講師：EDAC

● 受講料：無料

● 定員：40名

共催：一般社団法人EDAC

デモシステム提供：株式会社オーイーシー

「第1回ドローン産業研修」受講お申込み

下記ホームページからのお申込みください。ホームページへのアクセスが難しい方は、FAXにて「貴社名・部署名・参加者お名前」をお知らせください。

お申込み〆切：開催前日の正午まで

大分 ドローン協議会

検索

<http://drone.oita-ri.jp/411>

お問合せ先：大分県ドローン協議会事務局（大分県産業科学技術センター内）
高木（秋本・幸） 電話：097-596-7100

災害発生時におけるドローンの活用 ～Hec-Eye を活用した多地点映像中継システム～

■ 研修の概要

座学にて映像中継システムの概要を解説します。その後、複数のドローンが実際に飛行するデモを 2 回実施。ドローンが撮影する映像の中継システムを視聴していただきます。消防関係者による捜索や救助の模擬指揮も実施予定。災害発生時における被災現場～対策本部の情報伝達や救助活動などの効率化を検証する内容です。

■ 多地点中継システムについて

ドローン向け情報配信サービス「Hec-Eye」を、多地点映像中継システムとして使用します。被災現場を想定した 2 地点でドローンを飛行させ、調査映像および飛行位置情報を無線伝送します。消防本部を模擬した会場、および市役所でライブ受信します。ドローンの飛行、および消防本部の模擬運用については、受講予定者である消防関係者のご協力を得る予定です。



■ 研修の流れ

概要の説明、デモ 1 回目(南部振興局 大会議室)

09:30 開場・受付

10:00 研修開始(システム解説、稼働確認、飛行開始、デモ 1 回目、模擬指揮など)

会場移動(各自移動)

11:00 (デモ 2 回目会場である葛港へ移動していただきます)

デモ 2 回目(葛港)

11:30 消防隊員の活動模擬デモ(現場到着、配信確認、飛行指揮など)

12:30 研修終了(遅くとも 12:30 には解散予定です)